

11-2 いわゆる本源的蓄積について

貨幣や商品が資本に転化するためには、資本家＝「貨幣や生産手段や生活手段の所持者」と「自由な労働者」という、「二つの非常に違った種類の商品所持者が対面し接触しなければならない」。

「資本関係を創造する過程は、労働者を自分の労働条件の所有から分離する過程、すなわち、一方では社会の生活手段と生産手段を資本に転化させ他方では直接生産者を賃金労働者に転化させる過程以外のなにもものでもありえないのである。つまり、いわゆる本源的蓄積は、生産者と生産手段との歴史的分離過程にほかならないのである。それが「本源的」として現れるのは、それが、資本の前史をなしており、また資本に対応する生産様式の前史をなしているからである。

資本主義社会の経済的構造は封建社会の経済的構造から生まれてきた。後者の解体が前者の諸要素を解き放したのである。」

「農村の生産者すなわち農民からの土地収奪は、全過程の基礎をなしている」

大月版『資本論』②P932-6)

資本論では、ただイギリスにおいてのみ、「本源的蓄積の歴史」の典型的な形をとるので、イギリスを例にとった。